



胎内市立築地中学校
 令和3年7月21日
 NO. 4
 文責：校長 伊東 寿明
 学校だより作成委員会

下越地区総体報告会と小中合同クリーン大作戦について

(6月28日の全校朝会での校長講話)

下越地区総体を終え、それぞれの部長から結果報告がありました。悔いなく試合ができたという報告もあり、持てる力を100%発揮できたものと思います。「勝利は喜びをもたらし、敗戦は成長をもたらす」と言います。敗因や改善点などを分析して、次への成長の糧としてほしいと思います。特に1, 2年生は、次へのステップとなるよう期待しています。

また、先週は「小中合同クリーン大作戦 in 村松浜」がありました。村松浜海岸は、4キロ以上自然のまま続く貴重な海岸です。その海岸を清掃するという事は、ただ、ゴミを拾うというよりも自然環境を守ると言う意味でとても大切な活動です。皆さんが一生懸命行う姿は、たいへんすばらしいと思いました。今後20年、30年と今のきれいで自然なままの海岸を残していかなければなりません。現在、世界的な危機は、地球温暖化です。その原因は、二酸化炭素の増加です。二酸化炭素は物が燃えるときにできるので、ゴミを燃やすときも排出されます。私たちのできることは、ゴミを極力減らすことです。

そのように、次の社会に現在の活動を残していくことを「持続可能な社会」と言います。地球温暖化や化石燃料の使用、森林伐採など、その時は必要なことですが、それを続けていくと地球規模で、次の世代に安全に地球に住めなくなってしまいます。次の世代に安心して住める地球を残していくために「持続可能な社会」という考え方が大切になってくるのです。

「持続可能な社会」の取組が国連で話し合われ、2030年までに達成しようとしていることをSDGsと言っています。最近テレビなどでもよく耳にするようになったので、皆さんも聞いたことがあることと思います。SDGsとは、持続可能な開発目標という意味です。2015年に国連サミットにおいて、次の世代のために世界中のみんなで行き届くと決められたもので、国連に加盟している195か国が2030年までの15年間で達成しようとしている目標です。全部で17ありますが、興味があったら調べてみてください。

17ある目標の中で日本が達成しているものは、1つだけです。「質の高い教育をみんなに」というものだけなのです。しかも、残念なことに数年前に先進国の中で一番二酸化炭素の排出への対応が進んでいないという指摘も受けました。特に発電所が、火力発電に頼り、石炭火力発電が他の先進国よりも格段に多いことが指摘の理由です。石炭火力発電では二酸化炭素の排出は非常に少なくなるような設備を開発していて、アジアの途上国にも技術を提供しています。そのことは評価されていないのは残念ですが、日本の国として、日本人として取り組むべきことは他にもたくさんあります。

SDGsについては、また次の機会にお話しをしたいと思います。



体育祭活動がスタートしました！

9月11日（土）に体育祭が実施されます。7月20日（火）に体育祭結団式があり、体育祭実行委員長のあいさつや、赤軍・青軍の団長のあいさつ、応援やパネルの役員紹介、声出し等を行いました。競技や応援、パネル等での競い合いを通じ、心身を鍛練しながら、笑顔あふれる体育祭にしていきたいと思えます。熱中症や感染症拡大の防止に配慮しながらの開催となります。ご不便をおかけする場面がございますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

か 体育祭スローガン 「 翔ける 」

体育祭実行委員長 『昨年の経験を生かし、楽しい体育祭に』

私の目標は、体育祭が終わった後に、生徒全員が「楽しかった」と思えるような体育祭をつくることです。

去年は、コロナウイルスの影響で、さまざまな制限がかかる中、3年生が中心となって素晴らしい体育祭をつくり上げました。私は、そんな先輩方の姿を実行委員として見てきました。今年は私たち3年生が主体となって全校を引っ張っていく番です。生徒全員にとって最高の体育祭にするために、私は責任をもって任務を全うし、昨年学んだことを生かして、いろいろなことにチャレンジしていきたいです。

赤軍応援団長 『赤軍・青軍両軍で創り上げる体育祭』

私は団長としての仕事を全うし、生徒一人一人が楽しく笑顔で本番を迎えられるように、努めます。

この体育祭は、赤軍・青軍両軍で共に創り上げるものです。皆で心をつなげて、よい思い出となる体育祭にしましょう。

青軍応援団長 『絆を深める最高の体育祭』

今年の体育祭の目標は、「全員で協力し合い、競い合い、互いの絆を深め合う」ことです。今年は去年よりも万全にコロナ対策を行いたいです。各学年ともいろいろな思いがあると思いますが、体育祭後に振り返った時に、「最高の体育祭だった」と思える体育祭にできたらと思います。

これから準備期間に入り、たいへんなこともあると思いますが、全員で協力し合って、「最高の体育祭」をつくりあげていきましょう。

1学期の振り返りと2学期に向けて 一部文言を整理しています

1年生代表

私が1学期に頑張ったことは二つあります。一つ目は学習です。私は、社会と理科は覚える語句が多く苦手です。ですから、色を使って工夫しながらノートに記録することを頑張りました。その結果、定期テストでは、ほとんどの語句を覚えることができ、よい点数を取ることができたのでよかったです。

二つ目は部活動です。私は校外で硬式野球を習っています。野球では、まだ分からないことがたくさんあるので、他の選手を見て、早く覚えて上手になりたいです。これから1年生大会があるので、試合に出たいです。この夏休みにも活動があります。熱中症に気を付けながら、守備力の強化に取り組みたいです。

2学期に頑張りたいことは、学習です。家庭での自主学習では、苦手教科に積極的に取り組んで、苦手な教科を克服したいです。また、得意な教科でも復習を怠らず、覚えた内容を忘れないようにしたいです。また、2学期には大きな行事があります。体育祭では応援団に立候補しました。これからもいろいろなことに積極的に挑戦して、全校をリードできるように頑張りたいです。

2年生代表

私の1学期の反省は二つあります。一つ目は第1回定期テストについてです。2年生に進級して最初の定期テストで、1年生と比べて問題も難しくなり、どんなテストになるか心配でした。そのため、授業の時難しかった内容の問題やワークなどで一度間違えてしまった問題をしっかり理解するまでたくさん練習しました。また、数学の基本的な計算なども速く正確に解けるように繰り返し練習することができました。その結果、今までで一番良い合計点数を取ることができてよかったです。第2回定期テストは体育祭が終わってからあまり時間がないので、夏休みで時間があるうちに計画的に学習を進めたいです。

二つ目は、下越大会についてです。下越大会に向けて放課後の部活動や夜練習で、チームのみんなで声をかけ合い、士気を高め合いながら練習しました。下越大会当日は、練習の成果を発揮し、集中して粘り強くプレーすることができました。ミスをした時は、チームのみんなが次に向けての前向きな言葉をかけてくれたので、楽しみながらプレーすることができました。チームの目標である『佐渡に行ってプレーする』ことができ、先輩とたくさんの思い出をつくることができたので、とてもうれしかったです。私はバレーボールを通じて、お互いをカバーし合うことやバレーボールの楽しさ・大切さを学ぶことができました。バレーボール部で学んだことをこれからの生活に生かしていきたいです。

夏休みの抱負は、毎日1時間半以上学習することです。毎日決まった時間に学習し、集中して取り組むようにしたいです。来年は受験生として過ごす夏休みになるので、今年の夏休みから計画的に効率よく学習する習慣をつけていきたいです。早寝、早起きを心がけ、ケガのない充実した夏休みにしたいです。

3年生代表

私の一学期の振り返りは二つあります。一つ目は部活動です。昨年度、卒業生が引退したときに、私は卓球部の副部長となり、みんなをまとめる立場となりました。思うように行動できないことや、指示が全然通らないことも多々ありました。しかし、今の二年生に代替わりするまで、しっかりとやり遂げることができました。下越大会では、二日目となる二回戦まで進みました。最後の試合は三年間で最も挑みがいがあり、自分にとってよい試合になりました。

二つ目は家庭学習です。受験生となり、受験勉強に集中しなければならない時期になりました。今まで、色々な誘惑に負けて毎日のように仮眠やメディアの利用をしていました。これからは学習の習慣を身に付け、受験勉強に集中したいです。夏休みと二学期には生活リズムを見直し、家庭学習の方法を改めたいです。これまでは遅い時間から勉強を始め、寝る時間が遅くなるということがとても多く、体調に影響が出ることが多かったです。ですので、普段から計画を立て、規則正しい生活をしていきたいです。また、適度な運動を心がけたり、新研究をもう一周したりなど、小さな目標を立てて、それを達成していきたいです。中学校卒業まで、残りわずかということを入念に入れ、みんなと思い出を作りつつ、有意義な時間を過ごしたいです。

【お知らせ】

新潟県教育委員会発行の教育広報紙「かけはし」第50号（夏号）のURLをお知らせしますので、ご覧ください。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kyoiku/1191169877149.html>

新潟県教育委員会のホームページからもアクセスできます。

【お願い】

- 雨天時等、生徒の送迎のために多くの車が入り出りする場合があります、事故の防止に努める必要があります。
生徒には注意喚起をおこなっておりますが、保護者の皆様からも、校地内での車の運転は、最徐行でお願いいたします。
- 夏季休業中の生徒の事件・事故、新型コロナウイルス感染症に係わる濃厚接触者又はPCR検査等の対象者となった場合等は、学校又は胎内市学校教育課に連絡願います。



広島に送る千羽鶴の製作



図書JRC委員会による
ゴーヤーの植え付け



職員玄関前のツバメの巣
6羽すべてが巣立ちました